三菱自動車工業株式会社
東京都港区芝浦三丁目 1 番 21 号　〒108-

【三菱自動車工業 2023 年 3 月 21 日 プレスカンファレンス スピーチ】

・加藤隆雄　代表執行役社長 兼 最高経営責任者

みなさん、こんにちは。三菱自動車ブースにようこそ！
私たち三菱自動車は、環境にやさしく、どんな天候や路面でも、安全・安心で快適にドライブを楽しめるクルマづくりを追求しています。

今年、2023 年は、ピックアップトラック『トライトン』の全面改良や新型コンパクト SUV の投入など、三菱自動車のコアマーケットであるアセアンでの成長を加速させていく、とても重要な年になります。

そして、『トライトン』は当社のラインアップの中で最も販売台数が多い世界戦略車です。タイは『トライトン』の販売台数が世界一であり、『トライトン』を生産してグローバルに輸出する重要拠点でもあります。タイ政府、メディア、タイ国民の皆様の支援のおかげで、『トライトン』 はタイと国際社会に貢献していると確信しております。私たち三菱自動車にとって、新型『トライトン』を成功させることは最重要ミッションなのです。

本日は、その新型『トライトン』のコンセプトカーを、皆様に披露させていただけること、たいへん、うれしく思っています。

三菱自動車のピックアップトラックは、45 年前に発売した『フォルテ』から始まり、『ストラーダ』、『トライトン』へと進化を遂げ、今回で 6 代目となります。

初代で設定した 4WD モデルは、悪路での走破性と舗装路での快適性を両立し、後の『パジェロ』や『デリカ』に繋がる“三菱 4WD”の先駆けとなったモデルであり、その強みは歴代モデルで進化させ、受け継がれています。

ピックアップトラックは、働くクルマとして、荷物を目的地まで確実に運ぶ、毎日の仕事を確実にこなすための、高い信頼性と走破性が求められます。

一方で、プライベートを楽しむクルマとして、運転のしやすさや乗り心地の良さ、アウトドアレジャーを満喫できる使い勝手、どんな天候や路面でも自信をもって運転できる頼もしさや安心感が求められます。

これらの公私にわたるハイレベルな要求を満たすため、厳しい基準の社内試験はもとより、世界中のあらゆる環境での走行試験を実施しています。

また、長年にわたるダカールラリーなどを通じて得たノウハウを市販車の開発に活かし、操縦安定性や悪路走破性といった三菱自動車の強みを磨き上げ、どんな天候や路面でも安心して楽しめる走りを実現してきました。

実際に私も、日本の十勝にあるオフロードコースで試乗し、新型『トライトン』の力強さ、頼もしさ、安心感を実感することができました。発売に向けて順調に仕上がっており、楽しみにお待ちいただきたいと思っています。

本日ご覧いただくのは、その新型『トライトン』のコンセプトカーであり、ラリーカーをもイメージさせるコンセプトカーです。

それではご覧ください、『MITSUBISHI XRT Concept』です！

この『MITSUBISHI XRT Concept』は、新型『トライトン』で追求した、鋭い鷹の目を思わせるシグニチャーランプ、存在感のある精悍な表情と厚みのあるフード、水平基調の力強いスタイリングを実現させながら、前後オーバーフェンダーやマッドテレインタイヤを装着するなど、大地を疾走する躍動感のあるラリーカーとしての演出を施しています。

また、エネルギーが凝縮した溶岩石をモチーフとしたブラックとシルバーのカモフラージュデザインでボディを包み込んで力強い走りを表現し、ボディサイドにはラリーアートのロゴである 10 本の斜線を大胆にあしらい、光の当たり方次第で鮮烈な輝きを放つことで、三菱自動車の走りにかける情熱を印象づけます。

三菱自動車が技術支援するチーム三菱ラリーアートは、昨年のアジアクロスカントリーラリーで総合優勝を果たし、『トライトン』の信頼性や走破性の高さを証明しました。

今年は新型『トライトン』で参戦する計画であり、二連覇を目指して準備を進めています。

新型車の発売はゴールでなくスタートです。ラリーを通じて得た高性能化や高品質化のアイデアは、将来の『トライトン』だけでなく、幅広い三菱車にフィードバックしていきます。

新型『トライトン』のタイをはじめとするグローバル展開、そして新型『トライトン』でのアジアクロスカントリーラリー参戦、さらには新型コンパクト SUV の市場投入と、三菱自動車はさらなる成長に向けて邁進してまいります。

これからの三菱自動車に、どうぞご期待下さい。ありがとうございました。